

## IVSI2017 白馬大会 オーストリアワークショップ報告書

報告者 太谷 敏也

オーストリアチームのワークショップは3班に分かれ行われた。私が参加したグループでは、キッズプログラムについての発表があった。冒頭では、近年世界的にスキー人口が減少傾向にあり、初心者そしてエキスパートスキーヤーへのアプローチはもちろんのこと、これから10年20年先を見据えて行くと、キッズへのアプローチが非常に重要になるという話をされていた。

その上で、どのように雪山へ誘うか？ スキーに限らずどのようにスノースポーツに魅力をもってもらえるようなプログラムを組むか？ そしてリピーターに繋げていくのか？ をもっと我々は考えるべきと言う説明があった。

その後の実技では、キッズレッスン入門の紹介があった。各チームに分かれ、スキーを履かずに雪上フットボールや雪上イス取りゲームを行うなど、遊び感覚で楽しめるものからスタートした。その後、スキーを履いてゲームをしたりと、とにかく言葉で伝えて教えていくものではなく、子供達が幼稚園・保育園の運動会などでやっている様な事を雪上で行い楽しんでもらうという内容であった。さらに次のステップでは、アニメキャラクターのマットやネットロンポールなどを使って目標物に向かって自然と滑れるようになる組立になっており、尚且つ周りの友達と一緒に楽しめる様な内容だった。キッズエリアは遊園地の様な、見て楽しそうやって楽しいという演出も必要な事だと話があった。

詳しい内容に関しては資料を頂いたもので、どこかでお渡し出来ればと思います。